～行政区めぐり～　区長さんに聞く

大畑浜区

鈴木　俊区長

「区長さんに聞く」の第４回目は大畑浜区です。

大畑浜区は、１６００年頃の記録が残る長い歴史のある区です。古くから人が住み、大行院と正福寺の２寺院があり、良質な塩作りの場として他所から人が集まる場所でした。塩作りが廃れてからは、昭和の初め頃にイチゴ栽培にも力を入れるようになりました。それが、あの大震災で状況は一変。津波で甚大な被害があり、復興計画の中では住宅の新築ができない地区も設けられ、今、区内の橋本堀沿いに第二の堤防としての嵩上げ道路が計画され、工事が進んでいます。

区の活動を伺いました。

正月元旦に行われた年始会には、元区民も集まり総勢４０名。とても賑やかだったと嬉しそうに話されていました。２月には区の総会があり、その後は交通安全、見守り隊の活動、さらに区内清掃や草刈り等と全戸から人が出て、協力し合い活動しています。

区の公会堂は、場所を移して再建され、区内の行事やしあわせ会、長寿会、グランドゴルフ、パッチワーク等の活動拠点となっています。破損を免れた元南区の公会堂も近隣の活動や、わたりグリーンベルトプロジェクトの会合で使われることもあるそうです。

今後の区の課題は、戸数が増え・人が増えること。何をするにも人が足りない…とおっしゃいます。

筆者は子どもの頃、夏になると大畑浜へ潮干狩りや波打ち際で遊ぼうと自転車で出かけていました。今でも、パラグライダーやサーフィンを楽しむことの出来る鳴り砂の浜があります。

今回の取材は、鈴木区長さんの“地区の魅力で人が集まる、元気な地区でありたい”という願いがあふれるインタビューになりました。

次回の行政区めぐりは長瀞浜区を予定しています。（佐々木）

世帯数　２３戸
人口　　７４人
H30.１１.３０現在

パッチワークを楽しむ皆さん

消火訓練

区内一斉清掃

編　集　後　記

雪の少ない冬から春へと向かい、平成最後の号となりました。

紙面は各部会の活動紹介から、私たちが保全に力を入れる鳴り砂の浜「吉田浜海岸」についてと、防風林再生に取り組む「わたりグリーンベルトプロジェクト」を取り上げました。

さらに「オカリナサークルぶんぶんぶん」、そして人の集まる区でありたいという「大畑浜区」の取り組みを伺いました。

これからも、多彩な紙面作りを心掛けて参ります。

皆さまの身近な情報などをお寄せください。（佐々木）

次回は６月１日発行予定です

鳴り砂だより

吉田東部地区まちづくり協議会
広報誌 No,３０

発行日　平成３１年３月１日
編　集　吉田東部地区まちづくり協議会
住　所　亘理町吉田字大塚 185
電　話　0223-36-8831
ＦＡＸ　0223-36-8832
E mail　wa.tukuri.yt@ia9.itkeeper.ne.jp
発行責任者　多田 武生

新春おたのしみ演芸会

開催：平成３１年１月１９日（土）

亘理町農村環境改善センターを会場に、地域で活動されている１０団体と、吉田中学校吹奏楽部、長瀞小学校、腹話術の佐々木礼子さんに“歌・踊り・演奏・体操”などを披露していただきました。外はとても寒かったのですが、会場はそれに負けないくらいの熱気で、大変盛り上がりました。多彩なステージ発表に約２５０人の観客からは大きな拍手が送られていました。

吉田中学校吹奏楽部の演奏に客席も聴き入ります

元気いっぱい長瀞小学校児童“すずめ踊り”

料理教室 ～ほっきめし～

元気部会

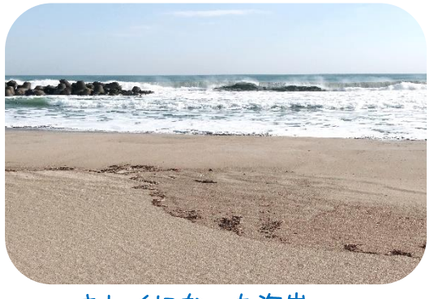
２月６日（水）亘理町食生活改善推進員協議会の方を講師に、亘理町の郷土料理【ほっきめし】教室を開催しました。

亘理町で冬から春にかけて味わえる“ほっきめし”。肉厚のホッキ貝は、噛めば噛むほどに豊かな甘みが口に広がります。貝の香りを生かした絶妙な味付け、弾力のある食感とジューシーな味わいは最高でした(*^▽^*)

参加者は殻むきからのレクチャーを受け「早速、家で作ろうと思います。」と話されていました。

吉田浜海岸の景色

集められたゴミの山



キレイになった海岸

宮城県による大型漂着物の撤去作業が１１月に始まり、１月末に終わりました。撤去した漂着ゴミや流木の総量は、約３６０㎥（１０ｔトラック約６０台分）

海岸の目立つ大型ゴミはなくなり、一見キレイに見える砂浜にもプラスチックゴミやペットボトル、ビンなどは新たに漂着してきます。

中でも、プラスチックの寿命は約１００年と言われています。長年かけて小さく砕かれマイクロプラスチックという有害物質になり海洋を漂い続け、海洋生物の生態系にも大きな影響を与えているのです。

今年も吉田東部地区まちづくり協議会では、定期的な海岸清掃を行い、鳴り砂の浜を守っていきたいと思います。

皆さまのご協力、よろしく願いいたします。

部 会 員 募 集 !

吉田東部地区まちづくり協議会では、
【元気部会】【健康部会】【安全部会】
の３部会でより良い地域づくりを目指し、身近な課題解決に向け取り組んでいます。

私たちと一緒に活動してくださる方はお気軽にお問い合わせください。

☎36-8831

～今後の事業予定～

３月・ふれあいスポーツ広場（１７日）

４月・吉田東部地区まちづくり協議会総会

５月・春の交通安全啓発活動
- 健康講座
- 長瀞小学校大運動会支援

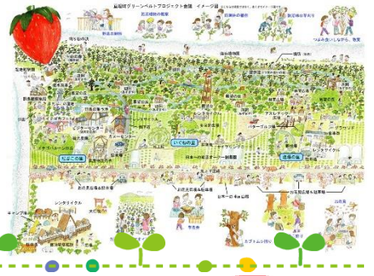
４月以降の事業は総会で決定になります。

わたりグリーンベルトプロジェクト

代表理事
嘉藤 一夫さん

かつて私たちの住む海岸には緑の林があり、そこは遊びの場、そしてキノコなど豊富な自然の恵みを与えてくれる場所でした。
あの震災の日、その場所はほとんどが一瞬にして消滅しました。
無くなって気がついた事は林の偉大さです。夏の浜風も強く肌を刺します。

いま、その林を再生しようと「わたりグリーンベルトプロジェクト」が取り組んでいることはご存知と思います。その中心となって活動しているのが嘉藤一夫さんです。浜に残った松の実から苗木を育て、地域の小学校や町民をはじめとして、全国のボランティアの手を借り、一本一本大切に植樹し、すでに約 32,000 本が植えられました。うっすらと浜に緑のラインも見え始め、その風景には感動さえも覚えます。未来の子どもたちが林の中を走り抜けて遊ぶ姿、自然の恵みに微笑む人の姿を想像して、早く大きく育てと思わず木に語りかけます。
「わたりグリーンベルトプロジェクト」の皆さんありがとう！（高倉）



♪心ひとつに♪

只野和子先生

私は今、音楽サークルを訪問し、心地よい音色に癒されています。
吉田地区交流センターを会場に、月２回練習をしています。
このサークルは、震災後の東部地区に賑わいを、との思いで只野和子先生を中心に１２名の生徒が活動しています。

上達法は「練習のみ」とのことですが、先生は「家での練習も必要だが、教室に来たら肝心の楽器がなかった…ではダメですよ。全員で力を合わせてアンサンブルを楽しむのが目的(^_-)-☆」と、ユーモアを交えて目標を話されます。
それを笑顔で聞いている生徒さん達のムードは良好です。

そのサークルとは“オカリナサークルぶんぶんぶん”です。オカリナはイタリア発祥で１３穴の陶器製楽器です。音を鳴らすのは意外に簡単な楽器で、ポップスからクラシックまで幅広く演奏されます。私の訪問時は「新春！おたのしみ演芸会」で演奏する曲の練習中で、アンサンブルの響きとリズムの合った息遣いを体感し、感動しながら余韻の残る教室を後にしました。（若林）

とても仲良しぶんぶんぶんの皆さん♪

演芸会での息ぴったりな発表♪